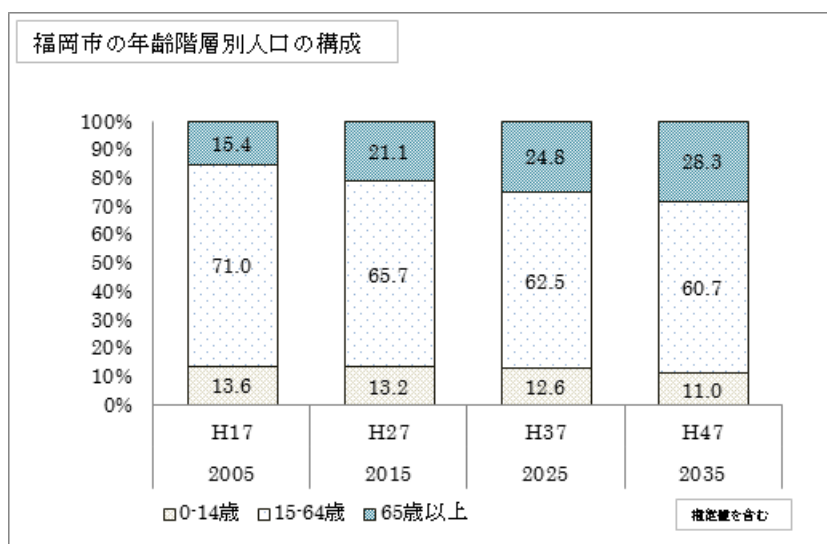


超高齢社会における食の安全安心について

【背景】

- 将来の人口推計によると、福岡市の人口は平成47年（2035年）に160.6万人にまで達することが見込まれており、全国でも数少ない「人口が増え続ける都市」ですが、同時に、高齢者人口が数万人単位で増加していくことも予測されています。
- 年少人口や生産年齢人口（15～64歳の人口）の割合が減少し、高齢者人口の割合の増加が顕著な全国と同様に、福岡市においてもこれまでに経験したことのない**超高齢社会**の到来が、目前に迫っています。（福岡市保健福祉総合計画より）



<今後の課題>

高齢者の割合が増加していく中、食の安全安心に関する必要な対策とは？

高齢者に関する施設等を対象とした食品衛生対策（現状）

- 社会福祉施設に対する立入検査
 - ・衛生状態の確認や食中毒予防対策のため、老人ホーム等の食堂の立入検査を実施
- 配食サービスにかかる収去検査
 - ・食事の準備が困難な高齢者などへ配食される弁当の収去検査を実施
- 高齢者に対する食中毒予防等啓発事業
 - ・家庭でできる食中毒予防対策等について、高齢者グループ等への出前講座の実施
- 介護サービス事業者への啓発事業
 - ・スタッフを対象とした衛生講習会を実施